

令和3・4年度県研究協力校「読書指導」
伊佐市立山野小学校研究公開

1 研究主題

子どもが本を身近に感じ、自ら読書に親しむ態度の育成
～国語科を中心とした単元構想の工夫と多様な読書活動の取組を通して～



2 研究発表

児童の読書意欲を喚起するとともに、国語科 **【研修係による研究発表の様子】** の指導過程に並行読書を位置付け、読書環境を整備することにより、国語科の学力向上と効果的な読書活動ができるようにするために、全職員で研究に取り組んだことが紹介されました。

研究内容、具体的な取組については、以下のとおりです。

- (1) 仮説1の検証 年間指導計画や単元を通じた読書の位置付け
 - ・ 読書指導等に取り組みそうな単元・題材の検討
 - ・ 単元構想の3ステップ+1（読書の位置付け）
- (2) 読書単元における実践
 - ・ 読書単元の実践① 読書に親しむ時間の設定（高学年の授業 5年生「作家で広げる私たちの読書」、6年生「私と本」）
 - ・ 司書と読書傾向の確認、読書ファイルの活用、ポップづくり、ブックトーク
 - ・ 読書単元の実践② 感想カードを通じた交流活動の実施（1年生「本はともだち むかしばなしをよもう」）
- (3) 「読むこと」単元における実践
 - ・ 2年生「お手紙」での実践
 - ・ 教科書を読み取った後、登場人物の関係性を知り、並行読書で読んでいる「ぼうし」のがまくんとかえるくんの関係性とを比較しながら音読の工夫につなげた取組の発表
- (4) 仮説2の検証 読書環境の充実
 - ・ これまでの読書活動の見直し（各学期1回の読書月間、高学年による読み聞かせ）
 - ・ お仕事体験、読書ガチャ、親子読書、読書おみくじの実施
- (5) 図書室や図書掲示物の環境整備
 - ・ 第二図書室（ミニ図書室）の設置
- (6) 司書や図書委員会との連携
 - ・ パネルシアターやビブリオバトルの実施
 - ・ 読書だよりによる児童の意欲喚起と家庭への啓発

3 公開授業

研究を具現化した検証授業として、吉留健史教諭が、3年生国語「モチモチの木」、4年生国語「初雪の降る日」（複式）の授業を行いました。

(1) 3年生国語「モチモチの木」

単元の終末に位置する本時は、これまでの学びを踏まえ、「豆太はどんな子どもだろうか。」という学習課題を解決していく授業でした。児童は、これまでの学習をワークシートを基に振り返り、自分の登場人物像を文章にまとめたり、ペアやグループで交流したりしながら、課題解決に向けて意欲的に取り組みました。



【3年生の公開授業】

(2) 4年生国語「初雪の降る日」

単元の導入に位置する本時は、「初発の感想を交流し、単元のゴールを設定しよう。」という学習課題のもと、授業が進められました。初発の感想を黒板に貼り、分類するとともに、どのような言葉や表現で分類したのかを話し合いました。また、ゴールの活動として、感想交流会を実施するということを決定し、そのためにどのような本を読むのかを真剣に話し合いました。



【4年生の公開授業】

4 分科会

「読書の良さを効果的に活用した授業づくりについて」、「児童が主体的に読書に向き合うための読書環境づくりについて」という2つの視点から、分科会が行われました。

グループ協議では、参加者が、授業参観で見取った児童の学びや教師の働きかけ、並行読書の有効的な活用等から授業を分析し、研究の成果や課題、インタビュー形式の交流や読書環境づくりの在り方、第二図書室の設定の有効性、図書室からの働きかけ等について意見を交わしていました。

参加者の感想から

【研究発表について】

- ・ 読書の楽しさを味わうポイントを意識した授業づくりがなされており、読書への意欲の向上につながった。
- ・ 図書室に児童が行きたくなるような仕掛けが盛りだくさんあり、参考になった。

【研究授業について】

- ・ 児童がまとめた登場人物に対する意見に対して、感想や質問が活発になされ、対話がよくなされていた。(3年生)
- ・ 読書の楽しさを味わうポイント(他者の感想と自分の違い)を意識した授業づくりがなされており、読書への意欲の向上につながった。(4年生)

【授業研究・分科会について】

- ・ 本を身近に感じられる掲示物があり、世界観が深まる。廊下の掲示物は「読んでみたい。」という気持ちを喚起させることができると思った。